



Historical / Natural heritage  
in Amagi town



# 遺跡だけじゃない魅力 戸森の線刻画

硬い花崗岩に**25隻の船、65本**の弓矢が描かれています。天城町南部を流れる秋利神川、その河口からおよそ1.5キロさかのぼった、南側の海岸段丘に位置しています。平成29年4月21日、天城町で初の県指定文化材(史跡)となりました！大正11、12年ごろ、地元住民に確認されており、それより以前、江戸時代に刻まれたようです。昔、戸森には集落があり、住民は昭和40年ごろまでに瀬滝へ移り住みました。それ以来、戸森は瀬滝集落の扱いとなりました。線刻画周辺の地域はフナダと呼ばれ、田んぼに適した地域で、今では多湿な森を好む、珍しい生物が生息しています。



国土地理院・基礎地図情報より作成

平成31年2月、リニューアル公開です！



舟釘で実験したら、  
15回で1.8ミリしか  
彫れないんだよ…

奄美、沖縄で線刻画が発見されているのは、徳之島と  
沖縄本島中部だけ。↓沖縄では石板が12枚ほど。

代表的な帆掛け船の線刻画は、おそらく最も初期のころに描かれたと考えられています。他にも大小の船、弓矢などが線刻されていて、船の構造や矢じりの形から、一定の知識を持った人が刻んだのではないかと思います。舟釘(ふなくぎ)のような硬い鉄器が用いられたようで、太いところで幅8ミリ、深さ3ミリに達しています。何のために描かれたか…謎です！



舵のある船が  
刻まれている



いつ、何のために作られたか  
やはり謎だそうです…

沖縄県立博物館・美術館所蔵

## 線刻画ニュース

犬田布岳の線刻画がGPSの測位により、  
天城町内であることが確認されました！  
詳しい場所は、电子版で配信しています。



鹿児島県と沖縄県  
指定の天然記念物だよ



産卵は水中ではなく、湿地のすぐわきの草むらで、卵はイクラより大きめ



まわりの森に住むアカヒゲは、発掘作業中によく遊びに来ました！



毛が生え、殻頂(かちよう)がくぼんでいる!? トクノシマケハダシクワンマン



トクノシマケマイマイは、毛というより産卵のよう

もっと情報が見られる  
电子版はこちら

